

警城時報

福島縣石城郡平町編四十四
印刷所 福島縣石城郡平町編四十四
印刷所 福島縣石城郡平町編四十四
印刷所 福島縣石城郡平町編四十四

平署の移轉終る

山部神官の移轉の式

平警察署の移轉は十二日行ふ事であったが、昨今又々弗々出荷となり平消防組幹部の應援をうけるに至り九日の取引は九百移動に着手し午前十時まで全く尻上りの高値を唱へ氣配引荷物の運搬を終了した。午前十一時一掃り模様である。

縣体育大會

石城選手決定

石城郡聯合青年團から縣聯合青年團体育大會に出場する選手は十日左の如く決定した。

暴風雨の被害は

稲と果樹に多い

石城郡農會で調査

二十日の暴風雨被害は相當その他果樹の被害多く殊に柿は二百二十日額に上つてゐる事既報の通り落ちたものが頗る多い見

濱三郡木炭

移出額減少

濱三郡木炭同業組合に於ける八の強風雨に襲はれたため、濱三郡木炭同業組合に於ける八の強風雨に襲はれたため、濱三郡木炭同業組合に於ける八の強風雨に襲はれたため

四倉藪市場

四倉藪市中絶の状

四倉藪市中絶の状は數日前一時出廻り中絶の状相當減収を免れない状況である

第三校地鎮祭

平町第三小學校の地鎮祭

平町第三小學校の地鎮祭は十三日午前十時から同町字正内町の敷地内に於て挙行する等。

年度の同月に比し九百六十六俵の減を見てゐる、これは要するに價格が十年來見て見ざる暴落を來した關係から一般に移出手控への氣味に依つたものである

特高課長視察

森本

本縣特別高等警察課長は十一日平町に來り矢野平署特高主任と

四倉消防組の紛擾

白紙のまま圓滿解決

四倉町の消防組紛糾につき同町業其他作物に可なりの被害あり

原町通信

山中飯桶の駒糞

馬郡山中飯桶の二才駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

家人の不在中

蠶室から發火

石城郡高久村大字下高久字前ノ内農業青島倍藏方で十一日午後

中堅農民講習會

石

城郡農會主催中堅農民講習會は

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

町警察署に送られたるに懲り性もなく去る九日中村地内に於て定員外に乗車せしめたる事、中村署員に発見され十日同署に於て又々科料三圓に處せられたり。

飲食店主の警告

相馬

郡真野村大字江垂字下十五番地飲食店主たや事増田ス

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

馬郡山科飯桶の駒糞は既報の如く同十一日より五日間

原町通信

山科飯桶の駒糞

時報文藝 吉田 輝生

丙午生の 女性の爲めに

(一) 正木朝夫

僕は丙午生れの人間である、
が爲めに殊更筆をこつたので
はないけれど、傳統的に過去
に於て展開された一部分の
半途的な出来事を手握して
現實の女性に恐ろしい呪ひの
聲を覺知させて行く人間に僕
は決然として語りたい。
なせならば彼等は丙午生れの
彼女等をして不自然の人生創
造的な勝手極まりない論議の
もとに彼女等の華かなりし一
生を破壊して行くであらうか、
僕は其の理由の奈邊に存在し
てゐるか云ふ問題に就て相
當考究もし亦相當悩まされた
のである結果僕は斷然然にそ
の存在に就ても「ナレッツ」し
たのであつた。

平町紺屋町
吉田眼科院
電話六八番

彼女等が現世に神秘的に出現
した時代が人類に對し宇宙の
何者かが呪ひの叫びを起して
ゐたか知ら、おそろしく宇宙大
自然は彼女等の生聲を聞いて
平等に愛してくれたと思ふ。
小學生時代の彼女等を學びの
庭に意識した時、奈邊にその
變化を認識した事があつたら
うか、他の女子と總てが共通
であつたと僕は思ふ。異性を
知覺して櫻老樹に身を與へそ
ぞろ吹き来る暖風に頬をなで
させ、若草そのものやうな
優しい陽を浴びて心行く迄戀
に悩む頃ほひ、初めて彼女等
の心理に恐ろしい人生創造的
な片段的な丙午生を意識させ
て行くのであつた。

水戸市昭和商工博覽會へ出品し
一、蒲鉾 一等賞金牌
一、鰹節 二等賞銀牌
一、サツマ揚 三等賞銅牌
領受
尚サツマ薩摩揚、磯邊揚は大々的勉強致升
平町二丁目
藤市
電話三〇五番

一葉印刷所
平町字仲町
電話七三四番

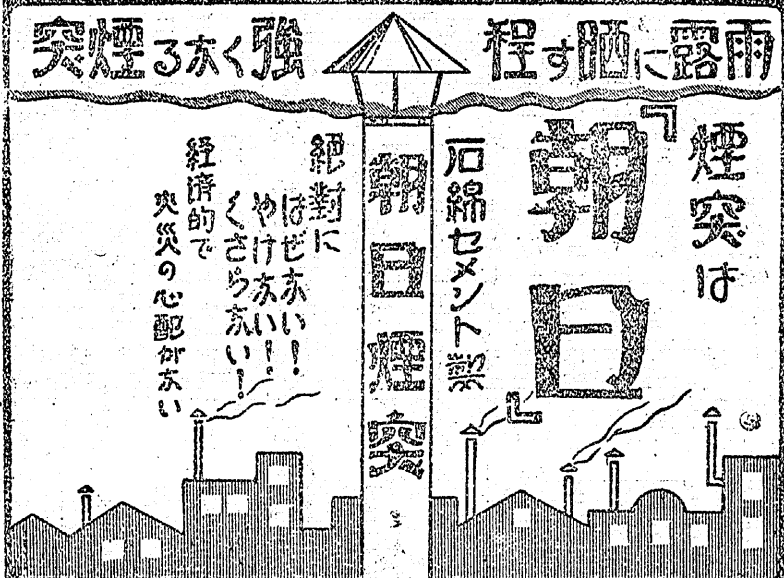
内臓外科専門 藤本順
骨關節外科 木村寅次郎
産婦人科 木村病院
外科 木村病院
産婦人科 木村病院
平町新川町(電話一六四)

理化學研究所製
吸入用酸素酸素吸入器
正確な体温器、寒暖計
特設平町
約開内藥局
店電四〇番

内柳病科 小兒科 (入院應需)
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平園五〇七番

外科専門 X光線科
上田外科醫院
平町南町
電話一二九番

雨露に晒す程 煙突は 朝日
石綿セメント製 朝日煙突
絕對に はげまいい!!
やくざらあいい!!
経済的で 中央の心配がはい



特約店 久登屋商店
電話九三九

醬油と味噌
山崎合名會社
藤島縣平町
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七三番
振替東京六八三三三番

新妻眼科醫院
平町字紺屋町
入院應需 看護婦一名至急募集
滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒 粟守酒
朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力
粟守酒特約店 大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目電話六三三

十三日より上映。本邦映畫の最高級映畫
◆平凡な映畫に飽き美と詩を求めんとする人々に捧ぐ
大日活レヅエー映畫 巨匠八監督合作作品
新舊連続 全八篇十七卷

口活行進曲
1 勢 働 篇 監督 田坂具隆 主演 島耕二・瀧花久子
2 早 醒 は 西へ 同 志 波 西 果 同 鳥 羽 陽 之 助・伏見直江
3 運 動 篇 同 内 田 吐 夢 同 廣 瀨 恒 美・入江たか子
4 堪 忍 篇 同 渡 邊 邦 男 同 新 妻 四 郎・楠 英 郎
5 田 園 篇 同 伊 奈 精 一 同 岡 田 時 彦・夏川静江
6 旅 役 者 の 群 同 佛 生 寺 彌 作 同 梅 村 泰 子・尾上桃華
7 戦 争 篇 同 三 枝 源 次 郎 同 中 野 英 二・澤 蘭 子
8 會 我 兄 弟 同 清 瀧 英 二 郎 同 澤 田 清・酒 井 米 子

坂妻プロ大傑作「開」續篇 劊人坂妻三郎・志賀晴明・森静子
説明 林 樂 遊・若月 柯 村

無頼に等しい自己の胸に新しい運命を吹き込んでくれ
たお秋を失つてから再び酒の生涯に走らんとする時お秋
を見た、然しお秋は生きて居る差はない、運命は彼をし
て再び苦惱の底に墮れさせて行く。説明 石 井 孝
料金普通 日曜学生 日活平
平町字南町 電話三〇七番
看護婦派遣の需めに應じます